

子どものいのちと人権を守る 3つの

リボン運動

(虐待 いじめ 薬物乱用)



その目的と主旨

附 リボンの作り方



善通寺ライオンズクラブ

子どもの人権と命を守る 3つの **リボン運動** その主旨と目的

リボン運動について、その主旨と目的について説明します。

日本における子ども虐待いじめの現状

児童虐待

様々の社会の変容が根底にあるにせよ、児童虐待は平成21年度**44,210件**、**20年間で40倍**にも増えています。この数は最早児童相談所の処理能力を超えており、虐待によると思われる悲惨な**死亡例は100－150件**に達しています。しかもこれは児童相談所で認定された数であり、実際には**その10倍もの事案が潜在的に進行**しているともいわれます。

いじめ

いじめは数年前に教育委員会が正式に認定し始めて、確認された数が、19年度だけで**84,648件**、これも**氷山の一角**と考えられ、**その10倍以上のいじめ**が進行中、あるいは始まろうとしているかもしれません。

薬物乱用

最近の有名芸能人みられるように、ふとした**好奇心**から、あるいはすっきりするよ、気持ちがいいよなどと勧められ、**知らずに簡単に手を染めて取り返し**のつかないことになってしまい、**人生をダメにしてしまう子ども**が多くなります。

主旨と目的

日本におけるこの流れは関係者や当事者だけでは到底防ぎきれず、国民全体の問題として意識し、**底辺から防いでいかなければならない**と思います。もっと小さいうちに、もっと若いうちに、悪いことは悪い、ゼツタイやってはいけないことを、しっかり心に刻んでいく必要があると考えます。また目的は実際の事例を見つけ解決するということではありません。このような状況に決してならないという、**その心を育てていく**のがこの運動の真の目的です。

そのためにはこの実情を多くの人々に知ってもらい、意識し、無言のうちに広められる**リボン運動**こそが我々に今できることではないかと考えています。これには多くの団体や様々の立場の方々のご理解とご協力が不可欠です。

どうか この主旨をご理解いただき、ぜひご協力のほどお願い申し上げます。

3つの リボン運動

子ども虐待防止
オレンジ リボン運動



いじめ撲滅
イエロー リボン運動



薬物乱用防止
レッドリボン運動



子ども虐待とは？

身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、ネグレクト、四種類の子どもの虐待は、それぞれ単独で発生することもあります。暴力と暴言や脅し、性的暴行と暴力や脅し、などが、複雑に絡まりあって起こる場合もあります。

「身体的虐待」とは？

身体的虐待は、保護者が子どもに、殴る、蹴る、水風呂や熱湯の風呂に沈める、カッターなどで切る、アイロンを押しつける、首を絞める、やけどをさせる、ベランダに逆さづりにする、異物を飲み込ませる、厳冬期などに戸外に閉め出す、などの暴行をすることを指します。子どもは、打撲や骨折、頭部の外傷、火傷、切り傷などを負い、死に至ることもあります。身体的虐待は、周囲から分かりやすく、顕在化しやすいのですが、注意が必要なのは、洋服の下に見えない部分にだけ暴行を加えるタイプもあることです。着替えや診察の資格を有する方は、少しでも様子がおかしいと感じたら、目で確認できる顔や腕、足にけがをしていなくても、洋服の下を見てください。

「性的虐待」

性的虐待には、子どもへの性交や、性的な行為の強要・教唆、子どもに性器や性交を見せる、などが上げられます。性的虐待は、本人が告白するか、家族が気づかないとなかなか顕在化しません。実父や義父などから「お母さんに話したら殺すぞ」などと暴力や脅しで口止めをされているケースも少なくありませんし、開始年齢が早いと子どもは性的虐待だと理解できないこともあります。私たちは、性的虐待なんて起こるはずがない、と思いがちですが、実際に乳幼児時期から発生していますので、注意を払ってください。性的虐待は、実母や義母などの女性から男の子どもに対しても起こります。

「心理的虐待」

心理的虐待は、大声や脅しなどで恐怖に陥れる、無視や拒否的な態度をとる、著しくきょうだい間差別をする、自尊心を傷つける言葉を繰り返し使って傷つける、子どもがドメスティック・バイオレンスを目撃する、などを指します。子どもの心を死なせてしまうような虐待、と理解すると良いと思います。

「ネグレクト」

ネグレクトは、保護の怠慢、養育の放棄・拒否などと訳されています。保護者が、子どもを家に残して外出する、食事を与えない、衣服を着替えさせない、登校禁止にして家に閉じこめる、無視して子どもの情緒的な欲求に応えない、遺棄するなどを指し、育児知識が不足していてミルクの量が不適切だったり、パチンコに熱中して子どもを自動車内に放置する、なども入ります。乳幼児や年齢の低い子どもに起こりやすく、安全や健康への配慮が著しく欠けたために、子どもが死に至るケースもあります。病気になるのに病院に連れて行かない、医療ネグレクトも存在します。

虐待としつけの違い

虐待としつけ。この二者間には、しっかりと線引きできないグレイゾーンが存在します。が、多数の事例に関わってきた福祉、保健関係者や精神科医、小児科医などが言うように「子どもが耐え難い苦痛を感じることであれば、それは虐待である」と考えるべきだと思います。保護者が子どものためだと考えていても、過剰な教育や厳しいしつけによって子どもの心や体の発達が阻害されるほどであれば、あくまで子どもの側に立って判断し、虐待と捉えるべきでしょう。多くのケースでは、保護者が子育てに苦勞されている現実がありますから、その気持ちを大事に考えることも大切です。

。参考「児童虐待の防止等に関する法律」の立法と「児童福祉法」の一部改正「児童虐待の防止等に関する法律」(通称 児童虐待防止法)は2000年11月に施行されました。もともと日本には、子どもの福祉を守る法律として「児童福祉法」があります。18歳までの児童を対象としており、この中には、子ども虐待に関して、通告の義務(児福法第二十五条 虐待を発見した者は児童相談所などに通告する義務がある)、立ち入り調査(児福法二十九条 虐待が疑われた家庭や子どもの職場などに立ち入ることができる)、一時保護(児福法第三十三条 保護者の同意を得ずに子どもの身柄を保護することができる)、家庭裁判所への申し立て(児福法二十八条 家庭裁判所の承認を得て被虐待児を施設入所などさせるための申し立て)が盛り込まれています。



善通寺ライオンズクラブ

子ども虐待防止 オレンジリボン運動



《 オレンジリボン憲章 》

**命はみんな 一つずつ、人生も一回だけ
祝福され喜びや夢と希望がいっぱいあるはずの子どもたち
なぜその夢が、希望が、命が失われるのでしょうか
その夢を、命を、人生を、どうか守ってあげてください。**

私たちは、子どもの成長と発達を支援することが、社会全体の責任であることを自覚して、次のとおり行動します。

- ①私たちは、子どもの命と心を守ります。
- ②私たちは、家族の子育てを支援します。
- ③私たちは、里親と施設の子育てを支援します。
- ④私たちは、地域の連帯を広げます。

子育てに困った時は

NPO子育てネットくすくす 0877-64-0580

地域子育て支援センター 0877-64-0288

虐待についての相談は

善通寺子ども課 0877-63-6365

西部子ども相談センター 0877-24-3173 (24時間対応)

リボン運動についての相談は

善通寺ライオンズクラブ TEL0877-62-2142 FAX0877-63-

5093

私たちは、子ども虐待のない社会を目指します

ご家族やお友達にもこのリボンの意味を知らせてあげてください。 4

いじめ

イエローリボンはいじめをしない・いじめをとめる人のしるしです。

いじめられる子は **つらい、さみしい、悲しい、悔しい、痛い、苦しい、孤独、絶望感、自殺願望、家族に話せない勉強など手に就かない、いじめている子の想像するよりはるかに深い深い悲しみと孤独の底にいます。**

「いじめる側が100%悪い」という認識が広がりつつある一方で、各地でいじめを苦にした自殺者が相次いでいます。いじめ問題のカギをにぎるのは「**傍観者**」です。いじめが嫌だと思っている人が沢山いても、みんなが自分に危害が及ぶのをおそれて沈黙すれば、その場はいじめに支配されてしまいます。「やめなよ」と言える人が数人でもいれば、いじめはなくなっていくでしょう。しかし一人がそう考えて行動しても今度はその子どもにいじめの矛先が向いてしまうこともあります。小さい時からいじめは絶対悪いこととほとんどの子どもの心にしっかりと上付けなければなりません。大人も子供も傍観者とならないために、「**STOP BULLYING ～いじめをとめよう～イエローリボン・キャンペン**」を広めたいと思います。

＜傍観者とならないために、子供ができること＞

- ・「やめなよ」のひとこと
- ・メールなどで被害者をはげます
- ・先生や保護者にそっと知らせる

＜傍観者とならないために、大人ができること＞

- ・いじめは絶対にいけないことを 子供に伝える
- ・子供の学校にいじめがあるなら、解決のために学校に協力する
- ・いじめの現場を見つけたら、その場でとめる。保護者や学校に知らせる。

統計 文部科学省の統計によると、平成19年度に文部省が認知したものは、**84,648件**のいじめがあり、児童生徒1000人あたりのいじめ件数は7.1人で、いじめを認知した学校の件数は40.0%でした。ただし以上の統計はもちろん文部省が認知した件数である為**暗数**を考慮しなければなりません。学年別で見た場合、中学生、なかでも特に中学一年生のいじめの数が多く、**中学一年生だけで17,063件**のいじめが認知されており、この数字は小学6年生(4,262件)や高校1年生(3,701件)に比べ4倍以上多い。男女比では、54.8%が男子、45.2%が女子です。

イエローリボン運動 はしかし いじめを見つけるための運動ではありません。個々にあがっている数字はもうすでに出来上がってしまっている、しかもどうしてもいじめの存在を認めなかった文科省は出した数字です。これはまさに氷山の一角であります。そしていまひそかに続いているいじめや、これからいじめの芽が出そうな子どもたちは**この数字の10倍いや100倍**かも知れません。**韓国などではいじめの加害者が少年院へ送られますが、日本では加害者の人権はしっかり守られます。**こんな中、私たちはイエローリボンをそのような子どもたち、その周りの子たちに届けたいと思います。



善通寺ライオンズクラブ

いじめ撲滅 イエロー★リボン運動

《 いじめのない社会を目指して 》

命はみんな 一つずつ、人生も一回だけ
喜びや夢と希望がいっぱいあるはずなのに
お互いに その夢を、命を、人生を、

どうか みんなで大切にしてください。

1、私たちは、次の勇気を持ちます。

いじめを ①しません

②手伝いません

③黙って見ないふりをしません

④してしまったら認めます

2、いじめは人として恥ずかしい行為です。

3、私たちはいじめられている子の

つらさ、さみしさ、悲しさ、悔しさ、孤独、絶望感 を理解します。

いじめについての相談は

24時間いじめ相談ダイヤル(全国統一番号) 0570-0-78310(なやみいおう)

24時間いじめ電話相談 087-833-4227(直通)

善通寺子ども課 0877-63-6365 (8:30-17:15)

善通寺市教育委員会総務課 0877-63-6327

善通寺市少年育成センター 0877-63-0415(みなよいこ)

西部子ども相談センター 0877-24-3173 (24時間対応)

ご家族やお友達にもこのリボンの意味を知らせてあげてください。

レッドリボン運動

この色は、最も一般的にエイズとHIV(訳注:ヒト免疫不全ウイルス)に対する闘いと関連付けられていますが、薬物乱用、飲酒運転に反対する母親の会、薬物乱用抵抗教育、そのほか多くの難病予防救済のシンボルカラーとして使われています。我々は特に薬物乱用防止を訴えるためのリボン運動をしたいと思います。

統計 平成20年 押収量 402.6kg(43kg増)検挙者 11,231人(中高生42名;注H14年159名)

昨年有名芸能人が覚せい剤使用で逮捕され大きなニュースとなりました。子どもたちが興味を示し一度でも使用したら取り返しのつかないことになります。次第に一般の社会にも深く入り込み始めています。そんな子どもに「ダメ、ゼッタイ」を知ってもらいたい。

一度はまってしまうと抜け出せない

気持ちいいよ 目が冴えるよ すっきりするよ 痩せるよ
何も知らずに使用してしまい、その後抜け出せない。

薬辞めますか？

それとも

人間やめますか。

ダメ、ゼッタイ ！



善通寺ライオンズクラブ

薬物乱用防止



《 レッドリボン運動 》

**命はみんな 一つずつ、人生も一回だけ
その命を、人生を、どうか大切にしてください。**

レッドリボン運動は エイズ撲滅や多くの難病予防救済のシンボルカラーであるとともに**薬物乱用防止、薬物乱用抵抗教育**のシンボルカラーです。

- ①私たちは、一度使用すると一生抜けられないことを知っています。
- ②私たちは、覚醒剤などで体も脳も次第に破壊されることを知っています。
- ③私たちは、気持ちいいよ、すっきりするよなどの言葉に惑わされません。
- ④私たちは、好奇心から薬物に手を出しません。
- ⑤私たちは、他の友人にこれらのことを伝え、止めるように進言します。

ダメ、ゼッタイ！ 人間 やめないで！

薬物乱用についてのご相談は

善通寺警察生活安全課 安全相談係

(0877)－62－0110

香川県薬務感染症対策課

(087)－832－3301

香川県精神保健福祉センター

(087)－804－5565

リボン運動についての相談は

善通寺ライオンズクラブ

TEL0877-62-2142 FAX0877-63-5093

ご家族やお友達にもこのリボンの意味を知らせてあげてください。

付録 リボンの作り方

布製のリボンを利用して自分でリボンを作ることができます。
とっても簡単ですので、チャレンジしてみてください

準備するもの

- ・リボン 1センチ幅(花束用のカラーテープが安価で数多く作成できる)
- ・接着剤(ホットグルーガン、ホットボンドが素早く乾いて慣れると素早くできる)



- ・安全ピン (3.5センチくらいが留めやすい)
 - ・ハサミ
- 1 まずテープを 13ー15センチに両端を山形にななめに切る。



- 2 テープをリボンの形にして持ち その間に 安全ピンの軸側を挟み、ホットグルーガンで素早くボンドを注入し、形を整えて乾燥させる。
その際、素早くガンを離さないとボンドが糸を引く。



出来上がり



命はみんな 一つずつ
人生もたった一回だけ
祝福され、喜びや、夢や、希望が
いっぱいあるはずの子どもたち

なぜ その夢が、希望が、命が、
失われるのでしょうか

その命を、その人生を、その夢を
どうにかみんなで守りたい。

このりぼん運動の趣旨にご賛同いただき、運動にご参加いただける方、もしくは団体の方々は、善通寺ライオンズクラブまでご連絡いただければ、パンフレットと、りぼんを提供いたします。

また リボンの作り方も載せています。簡単に作れますので各団体で作って頂いても結構です。

善通寺ライオンズクラブ 会長 大西 悟



善通寺ライオンズクラブ

ライオンズクラブ国際協会336-A地区
5R-2Z 善通寺ライオンズクラブ
〒765-0013
香川県善通寺市文京町3-3-3
善通寺商工会議所2階
TEL:0877-62-2142
FAX:0877-63-5093
E-mail:zen_lc@hotmail.co.jp
http://www.downtown21.gr.jp/~zen_lc/